

誓いの言葉

暖かな春の海風に誘われ、桜の花びらの舞う、希望にあふれた輝かしい季節となりました。私たちは今日、それぞれの夢を持ち、日本福祉大学に入学しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響が続き、世界中が大変な状況にある中、本日は私たち新入生のためにこのような盛大な入学式を執り行って頂き、誠にありがとうございます。

高校での生活は、新型コロナウイルスにより、大きな影響を受けました。入学式がオンラインになり、体育祭や文化祭も縮小され、思い描いた高校生活ではありませんでした。しかし、そのような生活であったからこそ学んだことがあります。それは、人と人の繋がり的重要性です。新型コロナウイルスの感染が拡大する中、ステイホームなどで人と会う機会が減り、人と話をするのがだんだん少なくなってしまっています。そのため、人と人の距離が、物理的にも、精神的にも、離れていってしまっています。私が人と人の繋がり的重要性に気付いたのは、高校時代に所属していた仏青インターアクト部でのボランティア活動です。学校周辺地域の清掃活動や募金活動を行っていくうえで、学校の友達や先生、地域の方々がたくさん支えていただくことで、多くのつながりを強く意識することができました。それだけでなく、部員との細かいコミュニケーションをたくさんとることによって、仲間との強いつながりもできました。三年間充実した学校生活を送れたのも、こういった多くのつながりがあったからだと思います。

私は、この高校生活で人とのつながり的重要性を学んだ経験を活かし、校外学習などで率先して地域の方々がたくさんコミュニケーションを取ったり、たくさんの友人を作り、みんなで手を取り合って課題に取り組んだりしていきたいと考えています。

最後になりますが、私たち入学生一同、日本福祉大学の学生として、先生方や友人をはじめ、地域の方々との交流を大切にしていきたいと思います。これからの大学生活では、私の目標であり、日本福祉大学が掲げている「ふつうのくらしのしあわせ」の実現に向け、みんな協力し、切磋琢磨しながら、希望と未来に向かって進んでいくことをここに誓います。

2023年4月1日

新入生代表

経済学部 経済学科

後藤 幸多